

福祉学習

プログラム集

Ver.2



宝塚ボランティアフラガ zukavo

もくじ

福祉学習プログラム一覧	2
実施までの流れ	3
社会福祉協議会連絡先	4
地域包括支援センター連絡先	4
市内各地区一覧	5
各プログラム内容	7

※各プログラムの内容については、P2「プログラム一覧表」内のページをご確

認いただき、それぞれのプログラムをご覧ください。

福祉学習プログラム一覧

プログラム名	対象					ページ
	地域	低学年	高学年	中学生	高校生	
楽しく学ぶSDGs入門講座	●	●	●	●	●	7
簡単！楽しい！すぐできる！自分を大切にする心と体のセルフケア講座	●	●	●	●	●	9
知ってほしいな 私たちのこと	●	●	●	●	●	11
手話教室		●	●	●	●	13
手話の出前講座・聴覚障碍（がい）への理解・難聴者への理解	●					15
障害当事者の生の声聞いてみなあ〜い？	●	●	●	●	●	17
グラウンドソフトボールと視覚障がい者についてのお話	●	●	●	●	●	19
サウンドテーブルテニスと視覚障がい者についてのお話	●	●	●	●	●	21
障がいを超えたコミュニケーション社会	●	●	●	●	●	23
認知症キッズサポーター養成講座	●	●	●	●	●	25
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第1地区）★施設見学など			●	●		27
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第2地区）★高齢者施設探検など			●	●	●	29
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第3地区）★高齢者について			●	●	●	31
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第4地区）①★介護についてなど			●	●	●	33
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第4地区）②★介護についてなど				●		35
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第4地区）③★高齢者施設探検など			●	●	●	37
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第5地区）★施設見学など				●	●	39
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第6地区）①★コミュニケーションについてなど			●	●	●	41
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第6地区）②★高齢者疑似体験など			●	●	●	43
「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第7地区）★高齢者疑似体験など			●	●	●	45
知ってほしい！視覚障がい者のリアルな世界	●		●	●	●	47
出前講座（視覚障碍（がい）への理解と先入観について	●	●	●	●	●	49

実施までの流れ

企画の検討



P7～ 各プログラムを参考に、『実施時期』『人数』『場所』などをご検討ください。しっかりと全て決まっていなくても大丈夫です。「こんなことしたいと思っている」「こんなことできないかな？」など、宝塚ボランティアプラザ zukavo または、社会福祉協議会地区センターにご相談ください。(P4)

依頼



各プログラムに記載のある「連絡調整先」にご連絡してください。連絡調整先にて、日時など実施団体に確認し、折り返しご連絡いたします。『実施日時』はいくつか(2.3日)候補をいただくとスムーズに進みます。また、調整までに数週間お時間をいただく場合がございますので、余裕をもってご依頼ください。

打合せ



打合せが必要な時は、実施団体と打合せをしていただきます。打合せ時には、日時の確認・当日の流れ・交通費や謝金などの費用の確認をお願いいたします。連絡調整先の職員がご一緒させていただくこともできますので、ご希望があればお申し出ください。

実施

※実施にあたり、ご不明な点などございましたら、宝塚ボランティアプラザ zukavo までご連絡ください。

社会福祉協議会連絡先
(企画の相談や依頼連絡先)

地区	名称	TEL	FAX
全市	宝塚ボランティアプラザ zukavo	(0797)86-5001	(0797)83-2425
1	おばやし地区センター	090-2640-3690	(0797)86-5160
2	逆瀬川地区センター	090-3262-0570	(0797)86-5160
3	ごてんやま地区センター	080-8536-0681	(0797)86-5160
4	安倉地区センター	(0797)86-5003	(0797)86-5160
5	長尾地区センター	090-3055-2837	(0797)86-5160
6	中山台地区センター	090-5360-4894	(0797)86-5160
7	西谷地区センター	090-1895-2702	(0797)86-5160

地域包括支援センター連絡先
(認知症キッズサポーター養成講座連絡先)

地区	名称	TEL	FAX
1	小林地域包括支援センター	(0797)74-3863	(0797)74-3922
2	逆瀬川地域包括支援センター	(0797)76-2830	(0797)77-3461
3	御殿山地域包括支援センター	(0797)83-1336	(0797)83-1337
4	小浜地域包括支援センター	(0797)86-3707	(0797)83-1123
5	長尾地域包括支援センター	(0797)80-2941	(0797)80-4110
6	花屋敷地域包括支援センター	(072)740-3555	(072)740-5087
7	西谷地域包括支援センター	(0797)83-5080	(0797)91-1300

市内各地区一覧

地区	住所	学校
第1地区	伊子志4丁目2～7、大吹町、小林、鹿塩、亀井町、光明町、御所の前町、駒の町、新明和町、未成町、大成町、高司、高松町、谷口町、塔の町、東洋町、中野町、仁川旭ガ丘、仁川うぐいす台、仁川北、仁川台、仁川高台、仁川高丸、仁川団地、仁川月見ガ丘、仁川宮西町、仁川清風台、福井町、美幸町、大字鹿塩	良元小学校 仁川小学校 未成小学校 光明小学校 高司小学校 高司中学校 小林聖心女子学院
第2地区	青葉台、伊子志（4丁目2～7を除く）、梅野町、逆瀬川、逆瀬台、寿楽荘、末広町、千種、長寿ガ丘、月見山、中州、野上、光ガ丘、宝松苑、宝梅、南口、武庫山、紅葉ガ丘、社町、ゆずり葉台、湯本町、大字伊子志、大字小林、大字蔵人	宝塚第一小学校 西山小学校 末広小学校 宝塚第一中学校 宝梅中学校 光ガ丘中学校 宝塚高等学校 宝塚西高等学校
第3地区	旭町1丁目、泉ガ丘、川面、清荒神、御殿山、栄町、桜ガ丘、すみれガ丘、中山荘園、中山寺3丁目4～6、米谷（1丁目13～14、21～40を除く）、宮の町、武庫川町、売布、売布ガ丘、売布きよしガ丘、売布東の町、売布山手町、売布自由ガ丘、切畑字長尾山11～13番地、大字川面、大字米谷	宝塚小学校 売布小学校 すみれガ丘小学校 御殿山中学校 関西学院小学校 宝塚北高等学校
第4地区	安倉北、安倉中、安倉西、安倉南、旭町2～3丁目、泉町、今里町、金井町、向月町、寿町、小浜、鶴の荘、星の荘、米谷1丁目（13～14、21～40）、三笠町、美座、弥生町	小浜小学校 安倉小学校 美座小学校 安倉北小学校 宝塚中学校 安倉中学校 養護学校

地区	住所	学校
第5地区	中筋、中筋山手（7丁目4～20を除く）、中山寺（3丁目4～6を除く）、平井、南ひばりガ丘、山本中、山本西、山本野里、山本東、山本丸橋、山本南、長尾町、口谷西、口谷東、切畑字長尾山4番地	長尾小学校 長尾南小学校 丸橋小学校 長尾中学校
第6地区	長尾台、中山桜台、中山五月台、中山台、花屋敷荘園、花屋敷つつじガ丘、花屋敷松ガ丘、花屋敷緑ガ丘、雲雀丘、雲雀丘山手、平井山荘、ふじガ丘、山手台西、山手台東、山本台、中筋山手7丁目4～20、中筋字長尾山9番地、切畑字長尾山（1～3、5～8、10、17番地）	長尾台小学校 山手台小学校 中山台小学校 南ひばりガ丘中学校 中山五月台中学校 山手台中学校 宝塚東高等学校 雲雀丘学園
第7地区	上佐曾利、下佐曾利、香合新田、長谷、芝辻新田、大原野、波豆、境野、玉瀬、切畑、切畑字長尾山（1～8、10～13、17番地を除く）	西谷小学校 西谷中学校

プログラム名	楽しく学ぶSDGs入門講座	実施形態	体験 ・ <input type="checkbox"/> 講話 ・ <input type="checkbox"/> ワーク その他（ ）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTAなど）		
伝えたいこと（ねらい）	国連の定めた持続可能な開発目標（SDGs）について自分事として捉え、行動につなげるための主体的・対話的な深い学びを通して、Think globally, Act locally（地球規模で考え、身近なところから行動する）な持続可能な社会づくりの担い手を育むこと。		
対応可能人数	何名でも可能	講師派遣数	2人
実施時間(分)	45分～90分	実施場所	現地会場 or オンラインで開催可能
実施内容	①SDGsを知る、感じる、学ぶ（講義&クイズ形式） ・SDGsについての基礎知識の講義&クイズ。 ・フィリピン共和国現地行政との子ども達への共同キャリア支援活動の実体験に基づく生の声を紹介。 ・その他、各国の持続可能な開発についての取り組み事例紹介。 ②SDGs体操 ・SDGs17の開発目標と各種体操を組み合わせた当団体オリジナルのSDGs体操を通して身体を動かしながら17の開発目標について楽しく学ぶ。 ③SDGsについて身近なところから行動に移そう&キャリアについて考えよう 質疑応答 ・SDGsについて実践していること、できること、やってみたいこと、Think globally, Act locally（地球規模で考え、身近なところから行動する）など行動することや自身のキャリアについて共に考え、発表。		
準備物	【オンラインの場合】 特になし 【会場開催の場合】 プロジェクター、マイク2本、マイクスタンド（なくても大丈夫） 音を流せる機械（CDプレーヤーなど）		

おおよその費用 ※相談可	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費（大阪からの交通費） ・謝礼金（お気持ち程度　　） ・その他（お気軽にご相談ください　） 		
打合せ	ご希望によりどちらでも	打合せ場所	オンライン or 現地にて
実施団体名	ヒキタシのわ		
連絡調整先	<p>名称 宝塚ボランティアプラザ zukavo</p> <p>TEL (0797) 86-5001</p> <p>FAX (0797) 83-2425</p> <p>メール avolun@nifty.com</p> <p>担当者名 西 真紀子</p>		

♪おすすめポイント♪

SDGs についてクイズなど交えて参加型&講師のフィリピンやネパールなど海外での SDGs 活動の実体験を交えてお伝えし、オリジナルの SDGs 体操で楽しく 17 の目標について学びます。SDGs を自分事として身近なところから実践できることをいっしょに考えます。

プログラム名	簡単！楽しい！すぐできる！自分を大切にできる心と体のセルフケア講座	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…（ <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生） <input type="checkbox"/> 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTAなど）		
伝えたいこと（ねらい）	今日から楽しく簡単に使える自分を大切にするためのメンタルヘルスとボディヘルスのスキルについて理論と具体的なスキルを身につけていただき、ウェルビーイング（心と体、精神の健康）を促進。 自分を大切にするための具合的なスキルが身につきます。		
対応可能人数	何名でも可能	講師派遣数	2人
実施時間（分）	45分～90分	実施場所	現地会場 or オンラインで開催可能
実施内容	【メンタルヘルス編】 ・ 世界一短いリラックス法。 ・ ストレスと上手に付き合う方法。 【ボディヘルス編】 ・ 幸せだから笑う→笑うから幸せ！笑いの効能。 ・ 簡単にできる健康体操		
準備物	オンラインの場合は特になし 会場開催の場合は プロジェクター マイク		

おおよその費用 ※相談可	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費（大阪からの交通費） ・謝礼金（お気持ち程度　　） ・その他（お気軽にご相談ください　） 		
打合せ	ご希望によりどちらでも	打合せ場所	オンライン or 現地にて
実施団体名	ヒキタシのわ		
連絡調整先	<p> <input type="text" value="名称"/> 宝塚ボランティアプラザ zukavo <input type="text" value="TEL"/> (0797) 86-5001 <input type="text" value="FAX"/> (0797) 83-2425 <input type="text" value="メール"/> avolun@nifty.com <input type="text" value="担当者名"/> 西 真紀子 </p>		

♪おすすめポイント♪

身体も心もリラックスできます。

自分をいたわり、大切にしている時間をいっしょに楽しみましょう。

（メンタルヘルス（産業カウンセラー）とボディヘルス（健康運動実践指導者）の有資格者が安心安全に講座を行います）

プログラム名	知ってほしいな 私たちのこと	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	知的障害のある人は、周りからは困った人に見える、でも実は困っています。知的障害のある人が、どのようなことで困っているのか、どのような思いでいるのか、疑似体験を通して知っていただきたいです。		
対応可能人数	50人程度まで 応相談	講師派遣数	4人～7人
実施時間(分)	30分～60分(応相談)	実施場所	市内どこでも伺います
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害とは お話 ・ わかりにくい言葉 体験 ・ できない気持ち 体験 ・ 見え方・聞こえ方 体験 ・ 知的障害の人との接し方 お話 ・ 自分だけがわからない気持ち 体験 <p>☆ 対象者に合わせて内容は変えています。 ☆ 小学生には、「障害」という言葉を使用しません。</p>		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーン（あればパソコン、プロジェクター） ・ 机 ・ 筆記用具 <p>☆ 駐車場を確保していただけると助かります（2台～）</p>		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ ） ・謝礼金（ お気持ち程度 ） ・その他（ ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	メールや電話でOKです。
実施団体名	宝塚すみれ隊		
連絡調整先	名称 一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会 TEL (0797) 86 - 9883 FAX (0797) 86 - 9299 メール takarazuka.tewoikusei@gmail.com 担当者名 小森 真喜子		

♪おすすめポイント♪

楽しく体験をして、知的障害の人のことを知ってもらいたいです！

たまに、人気のゲストも来ることもあります。

プログラム名	手話教室	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（手話の指導）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	聞こえないってどういうこと？「ろうあ」って何？といったことから障害当事者に発信してもらい、外見からは分かりにくく理解しにくい「ろうあ」という障害のことを広く知ってもらいたい。そして手話を広めたい。ろう者と通じる体験を通して、手話の面白さ、楽しさを知ってもらおう。		
対応可能人数	ご希望に合わせます	講師派遣数	要相談 人数や時間・形式によります
実施時間(分)	ご希望に合わせます	実施場所	体育館
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう者の体験談 ・挨拶など、簡単な手話を教え、みんなで表してみる。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板とチョーク または ホワイトボードとボードマーカー 		

おおよその費用 ※相談可	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費（ 500 円または実費 ） ・謝礼金（ 講師 1 名につき、1 時限 2,000 円 ） ・その他（ 手話通訳者 1 時限 1,900 円（1 名） ） 		
打合せ	要 ・ <input type="checkbox"/> 不要	打合せ場所	
実施団体名	宝塚ろうあ協会		
連絡調整先	名称 宝塚市役所 障害福祉課 TEL (0797) 77 - 2077 FAX (0797) 72 - 8086 メール 担当 笹倉		

♪おすすめポイント♪

手話って楽しいよ！ 体験してみよう！

ろう者って面白いよ！ 会ってみよう！

プログラム名	手話の出前講座・聴覚障碍（がい）への理解・難聴者への理解	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	<p>学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生</p> <p>地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)</p>		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・手話言語条例が平成28年（2016年）12月20日に制定されました。手話は言語であることの認識と市民が手話を使用しやすい環境づくりを目指します。 ・聴覚障碍（がい）に対する理解、難聴やろう者の特性を知り、聞こえない、聞こえにくい方も、輝いていけるような社会づくりへの啓発を行います。 		
対応可能人数	10人以上	講師派遣数	内容により1名もしくは2名
実施時間(分)	主催者の予定する時間	実施場所	主催者が用意した会場
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう者の日常生活上で困っている事、どうなったら良いと思っているかのお話と、簡単な手話指導。 ・要約筆記を中心に日常生活を送っておられる難聴者の困っている事、どうなったら良いと思っているかのお話。 ・聴覚障碍（がい）とは、どういうことかを知ろう。 		
準備物	必要な資料は市が用意します。（手話言語条例パンフレット・資料）		

プログラム名	障害当事者の生の声聞いてみなあ〜い？	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（交流）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	<p>障害者は特別な存在ではない、みんなと同じように地域でごく普通に生活している、少しでも私たち障害当事者との距離感を縮めてもらうために、当事者の話では各々の生活の話や、今に至るまでの話等、いろんな話をさせていただきます。その中でも生活環境も感じ方も個性も、障害者だから、同じ脳性麻痺でもみんな同じではない。人それぞれ違うということを感じてもらえたらなと思い、お話をさせていただきます。</p> <p>車椅子体験では、普段使っている校舎を使って体験してもらいます。その中で『障害』とはどこにあるのか。『障害』という言葉は良いか悪いかで言うと悪いイメージがありますが、じゃあ障害者って悪い人？と聞くと、そんなことはない！と、みなさん直感的に感じてくれます。障害者は何も悪くない。ではいったい何が『障害』なのだろう『障害』ってどこにあるの？という事を考えながら車椅子に乗って頂きます。この体験は、車椅子の操作体験ではなく、車椅子当事者の気持ちを少しでも感じてもらう為の『車椅子に乗る体験』です。</p>		
対応可能人数	出来る限り対応致します。 (多数になる場合は要相談)	講師派遣数	<ul style="list-style-type: none"> 当事者の話 2人～3人 車椅子体験 2人～3人
実施時間(分)	一枠45分～60分 1日2回～3回(要相談)	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> 話 教室又は個室 体験 校舎や施設等周辺
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 障害当事者の話 車椅子体験 2人1組のペアになります。(身障者用トイレを見る可能性があるため、同性同士でのペアを組んでください。) 1日2時間ほど(2枠)お時間を頂ければ2グループに分かれ、当事者の話と体験を同時進行で行います。1枠目が終わったら話を聞いていた方は体験、体験をしていた方は当事者の話を聞くという形で行えば60人から90人くらいでしたら1日に実施することが出来ます。90人以上の場合は日程を2～3日に分けていただければ対応できます。(要相談) コロナ禍で対面での実施が困難な場合、当事者の話のみ ZOOM での交流も行っています。内容としては障害当事者の話と同じ内容です。 <p>お気軽にご相談下さい。</p>		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ZOOM での交流の場合、ネット環境と機材の準備をお願い致します。 当事者の話の場合、個室(1グループ1部屋)の手配をお願い致します。 車椅子 10台～25台程(人数に合わせて準備をお願い致します。) 		

プログラム名	グラウンドソフトボールと視覚障がい者についてのお話	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	視覚障がい者の生活やスポーツについて、広く知ってほしい。		
対応可能人数	80人まで	講師派遣数	2人
実施時間(分)	45分～1時間	実施場所	グラウンド
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドソフトボール ・講話 (視覚障害について、杖の使い方、お願いなど) 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・バット ・ドッジボール 		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ ） ・謝礼金（ 交通費込みで10,000円（要相談） ） ・その他（ ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校や地域の拠点
実施団体名	宝塚視力障害者協会		
連絡調整先	名称 宝塚ボランティアプラザ zukavo TEL (0797) 86 - 5001 FAX (0797) 83 - 2425 メール avolun@nifty.com 担当者 西 真紀子		

♪おすすめポイント♪

ボールを打ち返すことが「醍醐味」です！

プログラム名	サウンドテーブルテニスと視覚障がい者についてのお話	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	視覚障がい者の生活やスポーツについて、広く知ってほしい。		
対応可能人数	80人まで	講師派遣数	2人
実施時間(分)	45分～1時間	実施場所	体育館
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ サウンドテーブルテニス (※1) ・ 講話 (視覚障害について、杖の使い方、お願いなど) <p>※1「サウンドテーブルテニス」は、卓球台の面から 4.2 cm上に張ったネットの下を、4 個の金属球を入れた音の鳴るボールを転がして打ち合う卓球競技だ。</p>		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卓球台 ・ 木のラケット ・ 音の出るピンポン球 (貸出できます) 		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ ） ・謝礼金（ 交通費込みで10,000円（要相談） ） ・その他（ ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不要	打合せ場所	学校や地域の拠点
実施団体名	宝塚視力障害者協会		
連絡調整先	名称 宝塚ボランティアプラザ zukavo TEL (0797) 86 - 5001 FAX (0797) 83 - 2425 メール avolun@nifty.com		

♪おすすめポイント♪

ボールを打ち返すことが「醍醐味」です！

プログラム名	障がいを超えたコミュニケーション社会	実施形態	体験・講話・ワーク その他（絵画指導）
対象	学校…(小学低学年・小学高学年・中学生・高校生) 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にすることの大切さ ・誰でもやればできる（諦めない）こと ・障がい者について学ぶ 		
対応可能人数	3～150人	講師派遣数	1人（補助1～2人）
実施時間(分)	各学校・団体の希望時間に準じる	実施場所	各団体の施設・学校
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者体験（小学生向け） ・口や足で絵を描く体験 ・森田真千子が実際に絵を描く姿を見学 ・「口と足で描く芸術家協会」の作品（10～20点）の無料貸出（1週間以上、各学校絵の巡回可能） ・森田真千子の社会と障がいについての話 ・色彩カードを使った色彩カウンセリング授業 ・質疑応答 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会→長机2つ ・障がい者体験→画用紙もしくはコピー用紙を1人1枚 ・色彩カウンセリング授業→ <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人班に対して折り紙1セット ・はがきサイズの画用紙を1人1枚 ・作品展示場所 <p>（森田真千子が準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「口と足で描く芸術家協会」の作品 ・色彩カード 		

<p>おおよその費用</p> <p>※相談可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費（相談可） ・謝礼金（相談可） ・その他（相談可） 		
<p>打合せ</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要</p>	<p>打合せ場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話・メール ・ギャラリーガレリアタカラヅカ
<p>実施団体名</p>	<p>森田真千子</p>		
<p>連絡調整先</p>	<p>名称 森田真千子</p> <p>TEL (090) 3940-0525 森田 もしくは (090) 8751-8005 畑中</p> <p>FAX (06) 7504-7640</p> <p>メール galeriatakarazuka2016@gmail.com</p> <p>担当者名 森田真千子</p>		

♪おすすめポイント♪

明るく楽しく、障害にこだわることのない授業

プログラム名	認知症キッズサポーター養成講座	実施形態	体験 ・ <input type="checkbox"/> 講話 ・ <input type="checkbox"/> ワーク その他（ <input type="checkbox"/> ）
対象	<p>学校…<input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 （いずれも学校の先生方保護者含めて対象）</p> <p><input type="checkbox"/> 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等）</p>		
伝えたいこと （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者」「認知症」について知る ・認知症の人と共に生きる地域とは何か 		
対応可能人数	5～200人くらい	講師派遣数	対象人数による
実施時間（分）	標準 90 分（授業で実施する場合は 一コマ45～50分でも可能）	実施場所	教室、体育館、視聴覚室、プレイルームなどコロナ禍でも実施可能な場所
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を知る ・認知症を知る ・「こんな時はどうしたらいいの？」みんなで考える。 <p>講話、動画視聴などで考え、学び合います。</p>		
準備物	講座に必要なスクリーンやプロジェクター、マイクなど学校にあるものを借用させていただきますことがあります。		

おおよその 費用 ※相談可	無料（ただし、キッズサポーター用のテキストを学校として必要とされる場合は次の金額が必要です。小学生用 1冊 52円、中学生用 1冊84円、送料はいずれも200冊ごと1010円。 2022. 4. 5現在）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	どこでも
実施団体名	宝塚市内 地域包括支援センター		
連絡調整先	<ul style="list-style-type: none"> ●宝塚市役所 高齢福祉課 TEL 0797-77-2068 ●市内各地域包括支援センター P4よりご確認ください。 		

♪おすすめポイント♪

講座終了後、認知症サポーター養成講座修了証をお渡しします。



プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第1地区）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（オンライン施設見学）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第1地区に所在する学校が対象） 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等）		
伝えたいこと（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」を知ること、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者がどのように働いているかを知ること、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下した時、「生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・ オンライン施設見学などを通して、自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間（分）	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	◎1コマの場合はプログラムのうちから1つを選択 1. 学校の近くにあるあの建物は何？（ZOOMでの施設見学）（講師／施設管理者） 2. 施設の行事食を見よう！食べよう！！体験（講師／管理栄養士）		
準備物	プログラム1の場合は、ZOOM使用のための機器（ディスプレイなど）		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ なし ） ・謝礼金（ なし ） ・その他（ プログラム2の場合は食事に関する実費 ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	宝塚ちどり		
連絡調整先	名称 宝塚ボランタリープラザ zukavo TEL (0797) 86-5001 FAX (0797) 83-2425 メール avolun@nifty.com 担当者名 西真紀子		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第2地区）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第2地区に所在する学校が対象） 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一つを体験したり、福祉用具・機器等を体験したりすることで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するのに必要な支援」や、「心身が弱っても、最期まで自分らしく生きることの大切さ、そのための支援」について考える機会にってもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	施設内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者施設探検 ※入居者とは触れ合わない形で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生：特別浴槽（機械浴槽）やリフトなどクイズ形式で見て貰う ・ 中学生：見守りシステムやタブレット、インカム、機械浴槽、リフト等、最新機器を見て貰い「これまでの介護」のイメージを変える「これからの介護」を体験して貰う 2. 高齢者疑似体験 黄色眼鏡やウエイトを装着して、高齢者を疑似的に体験して貰う 3. 看取りについて 人生会議や人生ノートを通して、最後まで自分らしく生きる事の大切さを知って貰う 4. 介護保険について どうして介護保険があるのか、医療保険とは何が違うのか、そこでどんな職種が働いているのか知って貰う 		

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第3地区）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第3地区に所在する学校が対象） 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等）		
伝えたいこと（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な「福祉の仕事」の一部を体験することで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	プログラムによる（1～2名）
実施時間（分）	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「歳を重ねるといことについて考えるワークショップ」 あなたが素敵だなと思うおじいさん、おばさんはどんな人？・高齢になって助けがあると嬉しいことってなんだろう・家族や地域の高齢者に対して、あなたができることは何だろう（講師／ケアマネ、介護職員） 2. 「高齢者の食事について学ぶ」 高齢者それぞれに合せた食事形態・愉しみとしての食事・食事前の「ばたから体操」の体験の実践（講師／管理栄養士、介護職員） 3. 「介護のプロの仕事に学ぶ」・介護の基礎知識（多職種協働で生活を整えるとは）・介護体験（高齢者疑似体験）・ケアプラン疑似体験（講師／ケアマネ、施設長） 4. 「生きる喜びについて考えるワークショップ」・自分の人生の在り方、人生の目的とは何かを考えることを通して、自分らしく生きるとういうこと（衣食住や仕事、趣味など）に向き合う（講師／施設長） 		

準備物	原則 なし		
おおよその費用 ※相談可	<ul style="list-style-type: none"> ・交通費（ 原則なし ） ・謝礼金（ 原則なし ） ・その他（ ） 		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	夢 御殿山		
連絡調整先	<p>名称 宝塚ボランティアプラザ zukavo</p> <p>TEL (0797) 86-5001</p> <p>FAX (0797) 83-2425</p> <p>メール avolun@nifty.com</p> <p>担当者名 西真紀子</p>		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第4地区）①	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第4地区に所在する学校が対象） 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一つを体験したり、福祉用具・機器等を体験したりすることで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択 1. (1)リハビリで生活範囲を拡大された利用者さんの紹介(写真などを交えて紹介) (2)自助具をつくろう！（道具を使うことで生活範囲も広がる）など（講師/PT(理学療法士)またはOT(作業療法士)） 2. レクリエーションを通じて交流の輪を広げよう（講師/介護福祉士） 3. 訪問看護師って何するの？訪問看護師の仕事の説明・聴診器を使って、自身の体の音を聞いてみよう（講師/看護師） 4. 訪問入浴って？実際に浴槽を見て疑似体験してみよう（講師/介護福祉士）		
準備物	原則 なし		
おおよその費用	・ 交通費（ なし ）		

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！ 体験してみよう！（第4地区）②	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第4地区に所在する学校が対象）		
伝えたいこと （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な「福祉の仕事」の一つを体験したり、福祉用具・機器等を体験したりすることで、リアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 ・高齢者の方が食べやすい食事を知り、どのような工夫をしているのかを学んでもらう。 		
対応可能人数	1クラス（40人程度）	講師派遣数	1～3名
実施時間（分）	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <p>1. 介護用品を使用したノーリフティング介護体験・ノーリフティングって？ （講師／介護職（2名）相談員（1名）） ※使用する介護用品はメーカーから借りるため、実施日によって異なる</p> <p>2. 管理栄養士の仕事って？・色々な食事形態（食事の楽しみ） （講師／管理栄養士（1名））</p> <p>3. 自分のケアプラン作成（講師／相談員またはケアマネジャー（1名））</p>		
準備物	<p>プログラム1：広いスペース必要</p> <p>プログラム2：食材を準備のためコンロ必要。他鍋、ザルなど（相談）</p>		

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第4地区）③	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第4地区に所在する学校が対象） 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一つを体験したり、福祉用具・機器等を体験したりすることで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するのに必要な支援」や、「心身が弱っても、最期まで自分らしく生きることの大切さ、そのための支援」について考える機会にしてもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	施設内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者施設探検 ※入居者とは触れ合わない形で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生：特別浴槽（機械浴槽）やリフトなどクイズ形式で見て貰う ・ 中学生：見守りシステムやタブレット、インカム、機械浴槽、リフト等、最新機器を見て貰い「これまでの介護」のイメージを変える「これからの介護」を体験して貰う 2. 高齢者疑似体験 黄色眼鏡やウエイトを装着して、高齢者を疑似的に体験して貰う 3. 看取りについて： 人生会議や人生ノートを通して、最後まで自分らしく生きる事の大切さを知って貰う 4. 介護保険について どうして介護保険があるのか、医療保険とは何が違うのか、そこでどんな職種が働いているのか知って貰う 		

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第5地区）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（オンライン施設見学）
対象	<p>学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第5地区に所在する学校が対象・宝塚東高等学校、雲雀丘学園高等学校も可）</p> <p>地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)</p>		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な「福祉の仕事」の一つを体験したり、福祉用具・機器等を体験したりすることで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・オンライン施設見学などを通して、自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～3名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「福祉のお仕事ってどんなこと？」実際の現場での仕事内容を通して、介護職の魅力やどのような経歴の方々が実際に仕事に就いているのかをお伝えする。施設見学（コロナ禍ではZOOM）（講師／介護職（1名または2名）） 2. 高齢者施設のICTや車いすなど福祉器具（インカム・眠りスキャン・PC・iPad・電子カルテなど）（講師／役職者） 3. 「福祉用具について」各疾患によるADLへの影響・各種福祉用具の使用方法・用途・自助具の紹介・制作体験（講師／セラピスト（2名）） 4. 「施設における口腔衛生と栄養管理」管理栄養士・ST・歯科衛生士の役割と連携、口腔ケア・嚥下評価について、食事の種類と形態について、嚥下体操（体験）（講師／管理栄養士（1名）歯科衛生士（1名）ST（1名）） 		
準備物	プログラム1の場合は、ZOOM使用のための機器（ディスプレイなど）		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ なし ） ・謝礼金（ なし ） ・その他（ プログラム4の場合は、自助具の材料費（1人50円程度） ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	特別養護老人ホーム 宝塚あいわ苑 介護老人保健施設 エスペランサ		
連絡調整先	名称 宝塚ボランタリープラザ zukavo TEL (0797) 86-5001 FAX (0797) 83-2425 メール avolun@nifty.com 担当者名 西真紀子		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第6地区）①	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第6地区に所在する学校が対象） 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一つを体験することで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 福祉の仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するにはどんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どのような場所で、どのような人たちが生活しているのか、どのような人たちが働いているのかを知る機会とし、また、福祉の仕事を身近に感じてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択 1. コミュニケーション技術を学ぼう！（講師／相談援助職） 2. 認知症を知ろう～認知症の方への声のかけ方を寸劇で体験してみよう～ （講師／各種専門職） 3. 不自由な生活の中で物を使って工夫することで「こうしたらできるんだ！！」体験（講師／作業療法士） 4. 施設の行事食を見よう！食べよう！！体験（講師／管理栄養士）		
準備物	なし		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ なし ） ・謝礼金（ なし ） ・その他（ プログラム4の場合は食事に関する実費 ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	ケアホーム 中山ちどり		
連絡調整先	名称 宝塚ボランタリープラザ zukavo TEL (0797) 86-5001 FAX (0797) 83-2425 メール avolun@nifty.com 担当者名 西真紀子		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第6地区）②	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （第6地区に所在する学校が対象） 地域活動団体（まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等）		
伝えたいこと（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一つを体験することで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気、障害で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間（分）	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択 1. 「高齢者疑似体験」黄色眼鏡やウエイトを装着して、高齢者を疑似的に体験して貰う（講師／地域交流委員会） 2. 高齢福祉施設での職種紹介と仕事内容（講師／各職種） 3. 高齢者、認知症について（地域でのサポート）（講師／地域包括支援センター花屋敷） 4. 障がい者（児）について（講師／相談支援事業所はぐくみ）		
準備物	なし		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ なし ） ・謝礼金（ なし ） ・その他（ なし ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	花屋敷せいのりの里（花屋敷栄光園）		
連絡調整先	名称 宝塚ボランタリープラザ zukavo TEL（0797）86-5001 FAX（0797）83-2425 メール avolun@nifty.com 担当者名 西真紀子		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	「福祉の仕事」を知ろう！体験してみよう！（第7地区）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	<p>学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 （小中学校は第7地区所在が対象。高校は地区外も対応可能。特に就職を控えた方、大学で福祉を勉強したい方など）</p> <p>地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA等)</p>		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な「福祉の仕事」の一部を体験することで、イメージではなくリアルな「福祉の仕事」に触れてもらう。従事者からやりがいや魅力を聞き、福祉の仕事に興味を持ってもらう。 ・ 様々な仕事を知り、体験することで、将来の進路を考える機会にしてもらう。 ・ 加齢や病気で心身機能が低下するとはどのようなことか体験してもらい、「心身が弱った時、生活するには、どんな支援が必要か」を考えてもらう。 ・ 自分の住んでいる地域にある福祉施設が、どんな場所で、どんな人たちが生活しているのか、どんな人たちが働いているのかを知り、職員と交流することで、親しみを持ったり身近に感じたりしてもらう。 		
対応可能人数	1クラス（相談）	講師派遣数	1～2名
実施時間(分)	1～2コマ（相談）	実施場所	学校内
実施内容	<p>◎1コマの場合はプログラムのうちから1つ、2コマの場合は2つを選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「福祉の仕事の概要」施設の中での過ごし方や老人疑似体験（ウエイトやゴーグル等）（講師／介護福祉士（相談員）） 2. 「ケアマネジャーの仕事ややりがい」 どのような仕事なのか 老人介護の関わり（講師／介護支援専門員） 3. 「施設での食事や食事形態」 嚥下や食事介助等の栄養面や食事イベントの立案 食事体験（講師／管理栄養士） 		
準備物	<p>体験学習などでは、社協さんにある疑似体験の重りやゴーグルなどをお借りしたい（他にも良い疑似体験ツールがあれば借用させて頂きたい）</p>		

おおよその費用 ※相談可	・交通費（ なし ） ・謝礼金（ なし ） ・その他（ プログラム3の場合は食事に関する実費 ）		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	学校内
実施団体名	特別養護老人ホーム 宝塚シニアコミュニティ		
連絡調整先	名称 宝塚ボランタリープラザ zukavo TEL (0797) 86-5001 FAX (0797) 83-2425 メール avolun@nifty.com 担当者名 西真紀子		

♪おすすめポイント♪

学校近くの福祉施設から職員が訪問し、それぞれの仕事内容に関する体験活動型プログラムを実施します。令和4年度からの新プログラムです。

プログラム名	知ってほしい！視覚障がい者のリアルな世界。	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校…小学低学年 ・ 小学高学年 ・ 中学生 ・ 高校生 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	人が受ける情報の割合は80%が視覚であるといいます。 では、残りの20%とは何なのでしょう？ 五感の内の視覚に頼れない当事者が、どのようにして収入を得て生活をし、どうやって社会と接しているのかをお伝えします。そして、「いつ」、「どのように」、サポートをすれば良いかを一緒に考えることで、誰もが必要以上にかまえることなく、「お互い様」の心で助け合う気持ちの大切さを確認していきます。		
対応可能人数	学校…3クラス/回 地域…30人くらい	講師派遣数	1人
実施時間(分)	学校…1限(45～50分) 地域…60分～90分くらい	実施場所	対応可能人数が全て入れる場所。
実施内容	<p>① 視覚障がい者が働く環境(小学5年生～) ～見えなくても働ける～ 目が見えないのに、どうやって働いているの？ そもそも働けるの？ 従来、視覚障がい者は「あはき業(※1)」に従事する人が多い。しかし、全ての人が「あはき業」で生計をたてているわけではない。事務職で働いている当事者が、どのように通勤しているか、どうやって業務に携わっているか、社員とのコミュニケーション方法などを伝えることで、社会の一員として働き、納税者であることを知ってもらいたい。 ※1 あはき業…あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の総称</p> <p>② 視覚障がい者のICT環境(小学5年生～) ～見えなくても社会とつながっている～ ICTとは：人とインターネットをつなぐことで、人と人をもつなぐ技術である。 では、視覚障がい者はどのようにICTを利用しているのだろうか？ ここではパソコンとスマホをどのように操作しているかを知ってもらうことで、視覚以外の情報収集の方法を学んでもらいたい。そして、より確かな情報を得るためには何が必要なのかを一緒に考えてみたい。</p> <p>③ 視覚障がい者の外出支援(小学4年生～) ～白杖とガイドヘルパーさんで世界は広がる～ 目が不自由なのに、どうして外出するの？ 目が見えないのに外に出て怖くないの？ 楽しいの？ 視覚以外の五感を活用し生活をしている方法、安全に外出するための手段などを知ってもらい、視覚障がい者を見かけた時に、どのように声を掛けたらいいのか、どのようにサポートするといいのかなどを一緒に考え学んでもらいたい。</p>		

準備物	①②インターネット環境 (wifi)、スピーカー		
おおよその費用 ※相談可	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費 (タクシー代実費 (清荒神〜)) ・ 謝礼金 (午前・午後 各 5,000 円) ・ その他 () 		
打合せ	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	打合せ場所	実施場所
実施団体名	合同会社 花車 ※土日祝は、宝塚ボランティアプラザ zukavo 登録グループ ほろほろが実施します。		
連絡調整先	名称 宝塚ボランティアプラザ zukavo TEL 0797-86-5001 FAX 0797-83-2425 メール avolun@nifty.com		

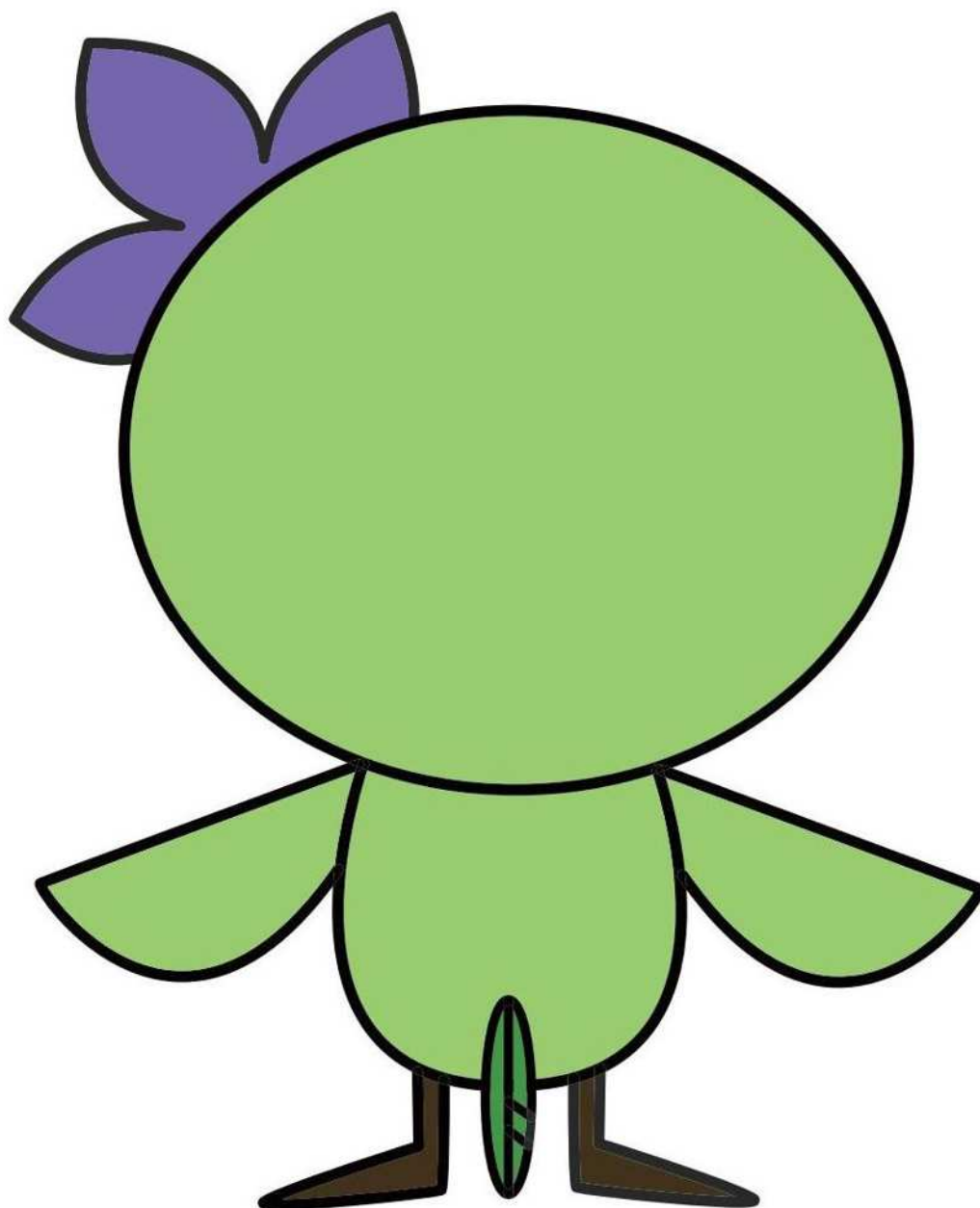
♪おすすめポイント♪

見えない、見えにくいと聞くと、日常の全てが一人ではできないと思われるかもしれませんが、しかし、不便はあるけれど何ら変わらず、皆さんと同じように生活をしています。

では、どのように生活をしているのか？ 各テーマごとに視覚障がいであっても社会の一員として働き心豊かに生活している方法などを学ぶ機会を提供します。

そして、体験談を通して「特別」でも「かわいそう」でもない視覚障がい者の日常を知ること、**「どのように」声掛けをし行動すれば、相手が怖がらずに安心してサポートを受け入れやすくなるのかを一緒に考えていける機会を目指します。**

プログラム名	出前講座（視覚障碍（がい）への理解と先入観について）	実施形態	体験 ・ 講話 ・ ワーク その他（ ）
対象	学校… <input type="checkbox"/> 小学低学年 ・ <input type="checkbox"/> 小学高学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 地域活動団体(まちづくり協議会や民生児童委員協議会、市民活動団体、PTA 等)		
伝えたいこと (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障碍（がい）に対する理解。 ・ 人は見かけで判断してはいけない。見えないものを創造する力をつけることが大事。 ・ 人は決してひとりでは生きていけない。色々な人々の支えで生きている。人生はひとりぼっちではない。必ず誰かが見ている。助けてくれる。励ましてくれる。 ・ 感謝の気持ち 		
対応可能人数	ご希望に合わせます	講師派遣数	1 名
実施時間(分)	主催者の予定する時間	実施場所	主催者が用意した会場
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白杖について ・ 盲導犬について ・ 声のかけ方、手引き（誘導）の仕方 ・ 目の不自由な人の生活って？ 給食体験で実際に目の不自由な方が、どうやって食事をするか見てもらうことも可能です。 ・ 休憩時間は質問コーナー（なんでも遠慮なく質問してください） 希望者には、実際に白杖体験やお金の識別体験などをしてもらうことも可能です。 		
準備物	打ち合わせ時にお伝えします		



社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会 宝塚ボランティアプラザ zuKavo

〒665-0867 宝塚市売布東の町 12-7 ぷらざこむ1内

TEL 0797-86-5001 FAX 0797-83-2425

✉ avolun@nifty.com

<令和4(2022)年9月発行>